

平成23年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

○高齢者への対応

地域や民生委員の方からの情報、西区役所からの情報等により、それぞれに必要な情報を提供したり、訪問をしたり、介護保険や他の事業の利用へとつなげました。

また、ケアプラザの役割や事業等の紹介を、地域に積極的に出向き、お話しをして、身近な存在として理解していただけるように努めました。

○乳児・幼児への対応

近年、マンションが増え、乳幼児を持つ若い世代が増えてきているという現状から、母親の仲間作りや交流、地域における親子の遊び場や居場所づくりのための事業を行いました。事業の実施に当たっては、さまざまな方面から情報を得て、特に23年度は、東日本大震災の影響を心配する母親のための事業にも取り組みました。

○団塊の世代への対応

地域にお住いの団塊の世代の方々の居場所づくり、地域の担い手となる人材の育成に向けての事業を展開、または後方支援を行いました。参加者が地域のボランティアとして活動できるような場を設定する等の支援を行いました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

様々な世代の地域の皆様にご利用いただく施設として、安心してお使いいただけるように空調設備、消防設備、エレベーター等の設備点検を定期的に行いました。

23年6月には空調の水漏れが発生し大規模な修繕工事となりましたが、皆様にご協力をいただき無事に修理を終えることができました。また、日々の清掃等をしっかりと行い気持ちよくご利用いただけるよう配慮するとともに、ノロウイルスやインフルエンザ予防のために消毒を実施、入り口には消毒液を常備しました。

ケアプラザの周りの植栽も水やり等の管理を定期的に行いました。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプラザの運営に必要な業務は、法人本部と連携し役割を分担しながら効率的に進めました。23年度は通所介護で利用する車両のレンタルを電子入札で行い経費の削減を図りました。

なお、法人本部においては、複数のケアプラザを運営するメリットを活かして情報を共有し、マニュアル等を作成して業務全般のより一層の効率化、経費の削減を図りました。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、ケアプラザにおいては苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者や地域からのご意見、ご要望、苦情等に対応しました。また、法人では公正中立な立場から斡旋、調整を行う第三者委員会を設置し、苦情の適正な解決に取り組みました。

毎月の苦情等はサービス向上委員会にて分析を行い、所長会で振り返り、さらにケアプラザに持ち帰り、職員を通してより良いサービスが提供できるように役立てました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザでは、地震・火災等の災害時の備えとして防災マニュアル、消防計画等を作成し、回覧や読み合わせなどを行って職員に周知を図りました。

また、23年10月と24年3月の年2回 消火・避難訓練を行い、緊急時に適切な行動がとれるにいたしました。訓練のうち1回は複合施設である戸部ハマノ愛生園合同で実施し、より実践に備えました。戸部ハマノ愛生園とは日頃からよい関係を結び互いに協力できる体制を整えております。

23年度は東日本大震災な経験から、また、予想される首都圏直下型地震への備えとして法人にて「防災マニュアル 震度7に備えて」を作成し、職員に周知し備えとしました。

その他に、特別避難場所としての応急備蓄品を貯蔵し、定期的に点検を行いました。法人としても職員向けに食糧やヘルメット等の備蓄品の準備をしました。

オ 事故防止への取組について

通所介護事業等におけるサービス提供については、毎朝のミーティングや月1回のスタッフ会議などでお客様の状態や情報を共有して事故な防止、削減に努めました。

さらにリスクマネジメントや介護法の研修によって事故防止を図りました。また、法人本部で取りまとめられた事事故事例を参考にするために、スタッフ会議で振り返りを行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人で定めた個人情報保護規定に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めております。また、法人本部で実施される個人情報保護・情報セキュリティ研修に職員を受講させ啓発に努めるとともに所内研修を実施しました。

実際の個人情報の取り扱いでは、契約書・記録等の書類関係は施錠可能な書庫に保管し、また、パソコン等のデータ管理についてはセキュリティ管理を行い、パスワードの使用を徹底しました。ファクス送信や書類等の送付については必ず複数の目で確認を行い、パソコンには盗難防止のチェーンをつけております。

注意をしておりましたが、23年度は通所介護の送迎名簿（数名分）の紛失事故が1件ありました。反省として、スタッフ会議において、個人情報の記載された用紙はたとえ短時間でも置き去りにしないこと、個人が特定できないように工夫をすることを周知し、以後実行に移して現在に至っております。

キ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示請求があった場合は適切に対応できるように整備をしておりますが、今年度には開示請求はありませんでした。

その他、法人本部、当ケアプラザ共にホームページを活用して、各種事業に関する情報などを広く市民の方に公表いたしました。なお、ケアプラザのホームページは、週1回更新をいたしました。

ク 環境等への配慮及び取組について

日常的に、ごみの削減、分別の徹底、コピー用紙の裏紙利用等を心がけ、ごみを出さないよう、また、リサイクルできるものはリサイクルをするように取り組みました。

ケアプラザ祭りの際には、地域の環境衛生係の方と協力して、広く住民に向けてごみの削減をアピールしました。

例年、地域の公共施設として、節電・節水に取り組んできましたが、特に23年度は東日本大震災の影響もあって、廊下や事務室等の電灯を必要箇所以外は消したり間引いたり、エアコンの設定温度を28度とするなど徹底的に取り組めました。その結果、4月～9月までの電気使用量を約18%削減できました。また、各事業の際も、節水やごみの削減への協力をお願いするとともに、参加者の皆様に意識付けを行いました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師職相当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	3名

《目標》

ご利用者の自立に向けた目標指向型のケアプランを作成し、サービスの導入に当たっては取り組み、実現可能な目標の設定を行い、評価で振り返りながら行ってまいりました。

要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、包括支援センターや地域活動交流の事業などと協力して適切なサービスを紹介しました。

特に、独居の方の見守りは、介護保険制度以外でも他の職種と協力して行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●担当者もしくは居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を超えて訪問する際に、交通費の実費をいただくこととなっておりますが、今年度は対象となる方はいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

●要支援者・二次予防事業を対象とした介護予防コーラス等の事業には、たくさんの方が参加されました。多くの方と楽しく交流が持て、さらに心身に良い効果を上げております。特に「コーラス」と「体操」は入会希望の方が多く、お待ちいただく状況でした。

●地域包括支援センター3職種が、それぞれに専門性を持ちながら共通認識を持って対応できるように所内にて定期的に会議を行いました。日常的に協力体制を整えて個別ケースを多面的、総合的に理解できるようにいたしました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
122	118	126	130	128	135
10月	11月	12月	1月	2月	3月
131	136	138	137	145	139

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

	管理者（介護支援専門員）	1名
常勤専任	介護支援専門員	2名
非常勤兼務	介護支援専門員	3名

《目標》

●在宅生活の支援への対応

ケアプランの作成にあたっては、ご利用者の皆様の心身の状態や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことを目指し、また社会資源等も活用したケアプランを作成し、丁寧に説明を行いました。

●公正中立な立場により多様なサービス調整

行政機関や地域の保健・福祉・医療サービス事業者、ボランティア団体等、多様な事業者から総合的、効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立ってケアプランを作成しました。サービス事業所等との連絡調整やサービス担当者会議などを行いながら、ご利用者やご家族に説明をし、ご納得をいただきながら、ともに取り組んでいただけるようなケアプラン作りを行ってまいりました。

要介護認定等の申請にかかる相談・助言・および申請の代行、ケアプラン作成、サービス事業所等との連絡調整、ケアプランの実施状況の把握、介護保険施設の情報その他の便宜を図るために、ご利用者宅の訪問やサービス担当者会議等を法令に則り丁寧に行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問する必要がある場合には、事前にご家族やご本人に説明を行った上で、公共交通機関の運賃分を実費負担いただくようになっておりますが、今年度はそのような対象者はいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラザの居宅介護支援事業所であるという利点を活かし、地域包活支援センター、西区役所、地域の支援者等との連携を十分に行いケアマネジメントに取り組みました。

また、特定事業所加算Ⅱの指定を受けた事業所として基準を確保し、24時間365日、相談が受けられるような体制を整え、迅速丁寧に、きめ細かくサービスを提供しました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
80	76	76	78	73	71
10月	11月	12月	1月	2月	3月
71	75	74	73	74	72

● 通所介護事業

- 通所介護計画書の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）
介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴などのサービスを提供いたしました。また、ご希望に応じて個別機能訓練や口腔機能向上のためのプログラムも実施しました。
- ・通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者やご家族の意思を尊重し心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、また、計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅訪問の上、状況調査を行いました。
- ・サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態になることの予防に資するように十分配慮しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	708円
（要介護2）	825円
（要介護3）	942円
（要介護4）	1,059円
（要介護5）	1,176円

● 加算

サービス提供体制強化加算	13円
入浴加算	53円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	159円

● 食費負担 650円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※ 年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:00 ～ 16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	3名
	看護職員	6名
	介護職員	22名
	機能訓練指導員	6名（看護職員兼務）
	調理員	6名
	ドライバー	5名

《目標》

- ・安全第一でお客様に満足して頂けるサービスを提供致します。
- ・スタッフ同士のチームワークを大切にします。
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を密に図り、お客様、ご家族様のニーズにあった適切なサービスが、迅速かつ確実に提供できるように努めます。
- ・美味しいお食事の提供の他に、お客様の状態にあわせた個別機能訓練を実施し、心身ともにお元気に過ごして頂きます。
- ・地域活動交流事業との連携により、お客様のニーズに沿ったサービスプログラムを検討、実施いたします。
- ・個人情報取り扱いに対する意識をしっかりと持ち、管理の徹底を行います。
- ・介護保険法を遵守し、業務を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

●さらなる個別対応の取組み

- ・お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じて自立支援の観点から、支援を行いました。
- ・個別機能訓練計画書の目標の達成を目指して、機能訓練指導員を中心に機能訓練を行いました。
- ・お食事前は嚥下体操、食後の口腔ケアはお客様のほぼ全員に行なって頂き、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めました。
- ・書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを行いました。
- ・ホットプレートを使用した調理レクリエーション、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣へ外出する戸外機能訓練など、楽しく機能訓練の要素を盛り込んだプログラムの提供も行いました。

●入浴

- ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。

●お食事

- ・厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提いたしました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供いたしました。
- ・お誕生日週間は、おやつに様々な和菓子や洋菓子を取り寄せて、特別な味を楽しんで頂きました。
- ・お食事はお客様皆様に美味しいと大変ご好評をいただきました。

●スタッフ教育

- ・毎月、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いを行いサービス向上に努めました。
- ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、業務にあたりました。
- ・スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会を年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。お客様のカンファレンスも行いました。

●関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行い、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。
- ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に当地域のケアプラザのデイサービスを知って頂けるように、地域に赴きPR等に取り組みました。

《利用者数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
709	682	656	653	664	632
10月	11月	12月	1月	2月	3月
623	621	606	547	603	666

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望に応じ、運動器機能の向上や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・ 介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の意思を尊重し心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮を行いました。
- ・ サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に配慮しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要支援1）	2, 3 2 7 円
サービス提供強化加算（1）	5 1 円
（要支援2）	4, 5 4 9 円
サービス提供強化加算（1）	1 0 1 円
- 加算

運動器機能向上加算	2 3 6 円
口腔機能向上加算	1 5 9 円
- 食費負担 6 5 0 円

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～金曜日）
 ※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:00 ~ 16:15

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護職員	6名
介護職員	22名
機能訓練指導員	6名（看護職員兼務）
調理員	6名
ドライバー	5名

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性、生活状況を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を行えるように様々なサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により対応方針を決定し、お客様に最適の計画を立て、実施いたしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- さらなる個別対応の取り組み
 - ・ お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じた援助を行いました。
 - ・ 運動器機能向上計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行い、定期的に評価を行いました。
 - ・ お食事前には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がって頂きました。
口腔内の健康と嚥下能力の維持のため、口腔ケアはお客様のほぼ全員に行なって頂きました。

- ・書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを行いました。
- ・ホットプレートを使用した調理レクリエーション、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣への外出（戸外機能訓練）など機能訓練の要素を盛り込んだ楽しいプログラムを実施しました。また、初詣、盆踊り、運動会など季節に合わせた行事も行いました。

●入浴

- ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。

●お食事

- ・厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供いたしました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供しました。
- ・お誕生日週間は、おやつに様々な和菓子や洋菓子を取り寄せて、特別な味を楽しんで頂きました。
- ・お食事はお客様皆様に美味しいと大変ご好評をいただきました。

●スタッフ教育

- ・毎月、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いを行いました。
- ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、業務にあたりました。
- ・スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会を年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。お客様のカンファレンスも行いました。

●関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。また、お申し込みに関しても、迅速に受付を行いスムーズにサービス開始ができるように努めました。
- ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に当地域のケアプラザのデイサービスでの取り組みを知って頂けるように、地域集まりなどに赴きPR等に取り組みました。

《利用者数（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	19	19	18	19	21
10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	21	20	20	22	20

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望に応じて、個別機能の向上や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。お客様の生活状況などを踏まえて、お一人ずつオリジナルのプログラムを行いました。
- ・ 認知症対応型通所介護計画の作成にあたっては、要介護状態の維持・改善を目的に目標を設定しました。お客様のご希望を尊重し、心身の状況、その置かれている生活全般の環境に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮しています。そのため、お家での生活に役に立ちそうな情報、ご家族の介護負担の軽減につながりそうな情報など、デイサービスでの様子を詳しくお知らせしながら、必要に応じてお客様やご家族様からお話を伺いました。常にスタッフが付き添うため、細かいご様子までお伝えできました。
- ・ サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図りました。
要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に十分配慮し、サービス提供を行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	1, 021円
（要介護2）	1, 130円
（要介護3）	1, 240円
（要介護4）	1, 351円
（要介護5）	1, 461円

● 加算

入浴加算	53円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	159円
若年性認知症利用者受入加算	64円
サービス提供体制強化加算（I）	13円←平成23年8月より取得開始。

● 食費負担

650円

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日）を除く

《提供時間》 10:00 ～ 16:15

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	2名
看護職員	5名（兼務）
介護職員	16名（兼務）
機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	5名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性や生活状況を踏まえ、自立支援の観点からサービスを提供いたしました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により対応方針を細かく決定し、対応しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- さらなる個別対応の取組み
 - ・少人数制でアットホームな雰囲気の日サービスを目指しました。
 - ・個別機能訓練計画書をもとに、お客様一人ずつの目標の達成を目指して機能訓練指導員が個別に機能訓練を行いました。利用されてから歩行が安定した方、ご自分の力だけで立てるようになった方など、様々な効果が見られました。
 - ・お食事前には看護職員による嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がって頂けるように取り組みました。口腔ケアはお客様のほぼ全員に行なって頂き、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めました。
 - ・脳トレ、書道、折り紙、塗り絵、など、お客様の心身の活性化につながるプログラムをお客様に選択して頂き実施しました。
 - ・お客様個人の目標に合わせて外出（戸外機能訓練）や季節感を取り入れた行事など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムの行いました。
- 入浴
 - ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。入浴の際は、一人ずつスタッフが付き添って誘導を行い安全に配慮しました。
- お食事
 - ・厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り込んだ手作りでボリューム満点の美味しいお食事を提供いたしました。
 - ・お誕生日週間には、おやつに様々な和菓子や洋菓子を取り寄せて、いつもとは少し違う特別な味を楽しんで頂きました。
 - ・お食事はお客様皆様に美味しいと大変ご好評をいただきました。
- スタッフ教育
 - ・定期的に、スタッフ会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いを行いました。
 - ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、業務にあたりました。
 - ・スタッフ一人ひとりに必要な知識や介護技術の向上のための研修を、年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。
- 関係機関・地域連携
 - ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。
 - ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に当地域のケアプラザのデイサービスを知って頂けるように、地域に赴きPR等に取り組みました。

《利用者数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
26	41	51	66	74	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
121	106	112	91	93	114

● 介護予防認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防地域密着型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じ、個別機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施します。
- ・ 介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の意思を尊重し心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮します。必要に応じてお客様宅を訪問の上、状況調査を行います。
- ・ サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に十分配慮します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 881円
 （要支援2） 986円

● 加算

入浴介助 53円
 個別機能訓練加算 29円
 口腔機能向上加算 159円
 若年性認知症受入加算 64円
 サービス提供体制強化加算（I）（13円）→平成23年8月～申請済です。

● 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00 ~ 16:15

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	2名
看護職員	5名（兼務）
介護職員	16名（兼務）
機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	4名（兼務）

《目標に対する取組状況》

平成23年度は利用実績がありませんでした。

《利用者数（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- 相談は高齢者の分野が全体の大部分を占めますが、子ども・障害の分野の相談は33件受けています。西区役所や西区地域活動ホーム、西区子育て支援拠点スマイルポートと連携し、必要に応じて情報交換を行い問題解決につなげました。
- 地域のボランティアが運営している配食サービス「ほっと幸せ会」へ毎月1回参加しました。また、必要に応じて民生委員や老人会の見守りネットワークと交流を持ち、それらを通じて地域に、より密着した情報を得ながら、地域の抱える課題の把握に努めました。
- ケアプラザ連絡会や西区地域包括支援センター担当者会議、西区役所との定例カンファレンスにて、定期的に情報共有を図り、適切な相談援助につなげました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

盆踊り、健民祭等の行事に参加し、地域ニーズの把握に努め、参加後は記録に残し所内で回覧をいたしました。地域のアセスメントの結果から、「茶ばしらサロン」へのお誘い、映画会の開催を企画しました。地域活動交流部門と包括支援センターにて「お客様アンケート」を実施し課題を抽出し、次年度は「各職種ごとの役割」について説明やPRに努めていく計画です。

3 職員体制・育成

年間を通して各事業それぞれの専門に必要な資格保持者を人員配置基準に従い配置しました。
社会福祉士職においては、平成23年9月30日をもって産休代替え職員が退職しましたが、遅滞なく有資格者を補充しました。
その際は、必要な研修を即実施し、専門職として職務を遂行できる体制を整えました。

ケアプラザは全職員が協働して地域住民の多様なお問い合わせに対応できるよう、貸室の対応方法や接遇の研修、情報の共有化を図るべく会議を毎月行っております。
また、法人本部やケアプラザは、職種・階層ごとの年間研修計画を立案し、計画に沿って研修を実施し、サービス、技術の向上に役立てました。
その他、横浜市や西区、関係機関が行っている研修にも職員を派遣し自己研鑽の支援を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- 民生委員児童委員協議会、連合町内会会議はもとより、定例外で行っている会議にも4職種で積極的に参加をし、相互に情報交換を行いました。
 - また、そこで得た情報は職員会議や記録に残すなどして、職員間で共有できるように工夫をし、各事業に活用いたしました。
 - 複数のボランティア団体と共同で事業を行い、各団体の特性を活かした連携が図れるよう支援をしました。
- その結果、多くの参加者に団体の周知を行うことができ、事業の目的を達成する事が出来ました。

5 区行政との協働

- 異世代交流会「コミュニティーキッチン5」や「ケアプラザまつり」等に、西区地域福祉保健計画を盛り込んだ内容を実施し、周知に取り組みました。
- また、異世代交流会「コミュニティーキッチン5」では、支援チームや計画推進メンバーにも参加をして頂き、参加者に直接、西区地域福祉保健計画を周知する機会を作りました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域への情報提供については、回覧・ケアプラザの掲示板・ホームページだけではなく、無料で配布されるフリーペーパー等も利用し、伝えたい世代・対象に合わせた発信方法を取り入れて効果をあげました。
- ホームページは、1週間に1度は更新し、常に新しい情報を地域に発信しました。
- 地域住民や自主事業参加者・貸し室利用団体へのアンケートを実施し、ニーズや情報の把握を行い、参考にさせていただきました。
- 積極的に地域の行事に出向き、地域のキーマンとなる方とも交流を図る機会を多く持ち、情報の提供・収集・共有を行いました。
- 一人暮らし高齢者への配食グループ「ほっと幸せ会」と共にお弁当の配達に参加。地域に住む多くのボランティアと交流を持つ事により、地域の様々な情報を集める事が出来ました。また、配食利用者へ直接情報を伝える事も出来ました。
- 集めた情報は記録を取り、他職種と共有を図り活用しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 参加者が減少傾向にある団体については、団体の活動が継続して行けるように随時声かけをし、運営のアドバイスや調整を行う等の支援を行いました。
- 『ケアプラザ＝高齢者の為の施設』と言うイメージが強く、貸室を利用する団体の多くは中高齢者ですが、子育て世代や若年齢層にも広く利用して頂ける様に、子育てサークルの集いや、地域で実施している子育て支援の場に出向き、情報提供や利用の呼びかけを行いました。その結果、子育てサークルの利用が増加しました。
- ケアプラザの広報紙で活動団体の紹介を行う事により、多くの地域住民に活動内容や目的を周知する機会多くを作りました。その結果、活動が活発になったり、紹介した団体に新たに参加する方がいたり活動に広がりが出ました。

3 自主企画事業

- 高齢者への対応
 - ・体力に自信のない方や運動習慣のない方にも参加して頂ける介護予防プログラムとして、地域包括支援センターと共に「ゆったりストレッチ」を実施しました。1回当たり平均で10名、総数で230名の参加がありました。
 - ・また、1月14日には、閉じこもり防止を目的とした映画会を開催、様々な内容で外出の機会を持てるよう工夫をしました。
- 乳児・幼児への対応
 - ・子育て世代の地域とのつながり支援を目的とした「みんなでスマイル」を実施する事により、西区子育て支援拠点スマイルポートや、地域の「親子ふれあい会」等の関係機関や窓口と繋がる事が出来るように支援をしました。
 - ・3月11日に発生した東日本大震災を受けて、『被災された方々、特に小さなお子さんやその家族の為に出来る事をしよう』と、「NPO 法人 WOOMOO」や「子育て支援サークル BuBuBu よこはま」と共に、幼児救急法や母乳育児（放射能汚染）についての講演会を実施。正しい知識の普及と義援金の募金を行いました。
- 団塊の世代
 - ・地域の担い手となる人材の発掘を目的として、夜間に自主事業等を実施しました。
 - ・「おやじの時間」「イケ麺's」では新たなメンバーも加入し、参加者同士の交流の機会も増えました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ケアプラザで育成したボランティアが、西区内の様々な場所で活躍が出来るよう支援・調整を行いました。
- ・カシャットと倶楽部・・・広報よこはま西区版への資料提供、地域の行事での記録写真の撮影
- ・イケ麺's・・・地区センターまつり、介護予防プログラム等での蕎麦打ちボランティア
- 区内4ヶアプラザ、区社会福祉協議会と連携し、障がい者、子育て支援それぞれの目的に応じた入門講座を開催しました。

地域包括支援センター

1 総合相談

総合相談支援（総合相談）

- 地域の方や、民生委員からの相談に対して、3職種の専門性を生かし、またネットワークを活用して、総合的な情報を提供し、迅速に課題解決へと繋げました。また、ケアマネジャーからの情報・相談を受けて戸部本町地域ケアプラザの協力医と相談し、適切な往診と状況確認につなげました。
- 個別支援では、日頃からの民生委員、地域住民とのつながりを活用し、地域包括支援センターの総合力を活かし、迅速に取り組みました。
- ケアプラザ会議、包括担当者会議、西区役所との定例カンファレンスを活用し、個別支援において西区役所の担当者と連携した支援を行いました。その後の支援状況の確認を定期的に行うことにより、タイムリーに支援方針の調整を図り、解決へと導きました。

総合相談（実態把握）

- 2ヶ月に1度の藤棚らいぶステーションへの出張相談を継続しました。1回に1～3件の相談を受けました。地域の高齢者世帯についての情報収集、また、介護保険等に関する情報発信の場として活用することが出来ました。
- 地域の民生委員や福祉保健団体関係者の皆様との顔の見える関係性づくりの為、民生委員・児童委員協議会や連町会、民生委員・児童委員合同研修会に参加しました。その他に地域ケアプラザの事業に参加して下さる地域の方や、親子ふれあい会の方々からも必要に応じて情報収集を行い、事業の参考にさせていただきました。
- 地域の祭り等の各種行事への参加をはじめ、今年度からは新たに地域の清掃活動への参加を行い、地域のニーズ把握と信頼関係の構築に努めました。そこで得た情報は必要に応じて地域包括支援センターだけでなく、地域活動交流やケアプラザ内で共有できるよう、連携シートを作成して管理を行いました。

2 権利擁護

権利擁護（権利擁護）

- 権利擁護のため、必要に応じて成年後見制度を案内し、継続的な利用支援を行いました。また、消費生活支援センターから講師に招き、「消費者被害にあわない為に」と題した講座を、10月に実施しました。老人会等、地域の方20名に参加して頂き、地域の方の消費者被害対策に対する関心の高さを実感しました。今後もこのような講座の必要性を感じました。
- サポートネットにて、区役所、各地域包括支援センター、社会福祉協議会と共に事例検討を行い、知識の向上を図り総合相談に活かしました。
- 西区役所、あんしんセンター、地域包括支援センター共催で権利擁護を目的に「人生これから講座」を全3回企画しました。

権利擁護（高齢者虐待）

- 虐待の早期発見・防止に向けて、家族介護者の会と共催で「介護者の集い」事業を5回開催しました。
- 西区役所主催の「処遇困難事例検討会サポートネット」に積極的に参加し、問題解決技術の向上に努め、総合相談に活かしました。
- 西区役所主催の高齢者虐待防止事業研修の開催に協力し、高齢者虐待の予防と早期対応について、地域のケアマネジャーを対象にグループワークを行いました。

権利擁護（認知症）

- 地域住民を対象に、家族介護者の集い「あけぼの会」と認知症ケア専門士を講師に招き、認知症についての理解を深める認知症サポーター養成講座を12月に開催しました。31名の方が参加され、質疑応答では、地域の方の認知症に対する関心の高さが伺えました。来年度も講座として取り上げたいテーマです。
- 西区徘徊認知症高齢者保護地域支援事業連絡会に出席し、認知症支援事業の理解を深め、情報交換を行うことにより、総合相談に役立てました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- 老人会、ふれあい会にて二次予防事業対象者の把握をしました。「基本チェックリスト」はケアプラザの事業以外に「へそ祭り」「みなとみらい秋祭り」にて健康相談コーナーを設け実施しました。その結果、配布数は101件。うち二次予防事業対象者は1年間で52件でした。
- 「はつらつシニアプログラム」への参加者は11名です（内訳：前期7名（運動5名・口腔栄養2名） 後期4名（運動3名・口腔栄養1名））。
- 前期はつらつシニアプログラムの参加者全員、地域の体操教室や「にこにこしにあセミナー」、ケアプラザの事業につなげ継続的に支援をしました。

介護予防ケアマネジメント力

予防プランの委託先ケアマネジャーの事業所へ定期的に出向き、随時相談を受けつけました。その結果「予防プランの立て方」について相談され、アセスメントや目標設定等個別に助言をいたしました。24年度ケアプラザでICFの考えに基づいた予防プランの作成方法について勉強会を実施する予定です。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域ニーズ把握のため日頃より民生委員や地域のお祭り等に積極的に出向き、関係作りに取り組みました。それにより個別ケース等で相談しやすい体制ができました。
- 地域との連携の関しては、一人暮らし高齢者の食事会、お祭りなど、多様な機会を活用し必要な情報を提供しました。結果、地域包括支援センターの周知が図られ、総合相談へとつながった事例がありました。
- ケアマネジャー、民生委員の情報交換の場として、西区内4包括共催のケアマネサロンを開催し、情報の共有が図れ、お互いの役割を理解することができました。

医療・介護の連携推進支援

- 西区内4包括共催のケアマネサロンにて、病院のMSWとケアマネジャーとの交流の場を設けました。
- 入院、退院時の連携の必要性を再確認するとともに、情報を共有することで、問題解決につなげる事ができました。
- 関係機関との情報共有に関しては、個人情報の取扱いに十分気をつけて対応し、情報漏れはありませんでした。

ケアマネジャー支援

- 西区内4包括共催にて、ケアマネジャーのスキルアップ・ネットワーク構築のためのケアマネサロンを8回実施し、ネットワーク作りが図れました。
- 西区ケアマネ研究会の定例会に参加し、地域のケアマネ支援を行ってきました。その他に、個別の相談には随時丁寧に対応しました。
- 地域の居宅介護支援事業所を定期的に訪問し、ニーズを把握するとともに、ケアマネサロンの内容・予防プランの作成についての情報提供を行いました。
- 支援困難ケース、緊急を要するケースは、ケアマネジャーや民生委員等と共に積極的に関わりサポートをしました。
- 日頃より、困難ケースの有無にかかわらず、相談しやすい関係作りを心がけました。ケアマネジャーからの相談件数が82件あり、丁寧に対応しました。

介護予防事業

介護予防事業

- 介護予防に特化した事業を継続いたしました。
- 「おやじの時間」では、ただ参加するだけでなく、各参加者の得意分野を活かした役割分担を行いました。そのため、各個人が積極的に会に参加・協力し、スムーズに良い雰囲気ですべて進みました。
- 「にこにこしにあセミナー」は各コースに新規参加者が3～4名あり、コースが終了しても本人の希望で次回のコースに参加されました。また「ゆったりストレッチ」に繋げ継続的に参加者の支援を行いました。

その他

地域包括支援センターの相談体制を強化して、地域の人々の相談に丁寧に応じ、より良い解決へと導きました。

また、介護予防事業や体力向上プログラムを充実させて、多くの方に楽しく参加していただき、効果を上げることができました。

平成23年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名: 戸部本町地域ケアプラザ

平成23年4月1日～平成24年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護	小規模多機能
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料収入	18,881	23,464	0		0	0	0	0	
	介護保険収入	0	0	0	7,488	14,854	77,431	10,182	14,202	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)	0	0	2,112	0	0	0	0	0	0
	補助金収入	121	0	0	0	0	1,559	0	305	0
	認定調査	0	0	0	0	586	0	0	0	0
	積立金取崩収入	0	0	0	0	0	1,017	0	0	0
	その他	224	42	0	0	436	1,017	0	213	0
収入合計(A)	19,226	23,506	2,112	7,488	15,876	81,024	10,182	14,720	0	
支出	人件費	10,463	18,449	1,495	1,677	15,159		45,581	17,606	0
	事務費	2,337	2,416	0		4,718		9,940	3,282	0
	事業費			617						
	管理費	6,160	1,638	0		20		7,062	1,277	0
	その他									0
	居介支委託分			0	402	0			0	0
	施設使用料相当額			0	0	0		2,793	1,197	0
	他会計区分繰入	266	1,003	0	0	1,388		17,188		0
支出合計(B)	19,226	23,506	2,112	2,079	21,285		82,564	23,362	0	
収支 (A) - (B)	0	0	0	5,409	-5,409		8,642	-8,642	0	

介護予防プランを他事業者へ委託した場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ隊	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：介護予防コーラス 原則、第2・4火曜日	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちゃクッキ	目的：主に、一人暮らしや団塊の世代に男性の閉じこもり防止・交流の場の提供・介護予防 内容：次月メニュー決めと茶話会・男性料理教室 原則、第2・4火曜日	通年 26回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の居場所づくり・介護予防・ボランティア育成 内容：中高年の男性の居場所作り、ボランティアの育成、介護予防。 原則、第4火曜日	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶ばしらサロン	目的：閉じこもり予防・仲間作り支援・介護予防 内容：手芸・工芸・調理・運動プログラムと茶話会 原則、第2・4水曜日	通年 22回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わたぼうし	目的：若年期認知症の方・介護保険でのサービスを利用出来ない方へのミニデイサービスにより、社会参加の場の提供・家族のレスパイト 内容：地域ボランティアの方が中心となり若年期認知症の方を対象としたミニデイサービス（余暇活動・昼食提供・音楽療法・外出行事） 原則、第3水曜日	通年 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：第2週：プレイルームの解放/第4週：イベントの実施（講演会・読み聞かせ・体操プログラムなど）	通年 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操	目的：介護予防・健康増進・異世代交流 内容：石崎川公園にてラジオ体操を実施 原則、毎週土曜日	通年 40回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者のつどい	目的：閉介護者同士の交流の場の提供 内容：介護者同士の話し合い・情報交換・講座など実施しながら親睦・介護の情報提供を行う	5回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談 よろずや戸部本町	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握 内容：藤棚商店街にある[らいぶステーション]へ出向いての相談会実施 原則、偶数月の第4土曜日	通年 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握・介護予防 内容：一人暮らしの高齢者食事会、老人会、町内会などの集まりに出向いて、講座・講話を実施していく	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カシャット倶楽部	目的：団塊の世代の仲間作り支援・情報発信ボランティアの育成 内容：地域にいる中高年の仲間作り支援（写真を通して、地域の方へ住み慣れた横浜や西区の情報を発信するボランティア活動）	通年 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉機器展示	目的：条例で位置づけられた福祉機器の展示・紹介及び、相談調整を行う 内容：福祉機器の展示・相談	通年

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこしにあ セミナー	目的：要介状態にならない為に地域支援事業 内容：体操・口腔ケア・栄養改善に関する講座を実施	

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康たますだれ	目的：健康増進・介護予防・ボランティア育成 内容：玉すだれを使い、口上を覚え全身を使い介護予防に努める。ボランティアの育成。 原則、第2火曜日	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イケ麺、S	目的：団塊の世代の仲間作り支援・ボランティアの育成 内容：蕎麦打ちと言う手法を用いたボランティアグループの育成	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったりストレッチ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ストレッチ体操	通年 23回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張 スマイル 広場「みんなで スマイル」	目的：交流の場の提供・仲間づくり・関係機関との連携 内容：プレイルームの開放	平成23年6月～ 3月 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すみれ会	目的：介護予防、ボランティアの育成 内容：すだれを用いたボランティアの育成、介護予防。	通年 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマヨガ教室	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ヨガ教室	平成23年6月～ 11月 13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東日本大震災 チャリティーイ ベント 「ファミリーの 笑顔応援」講演 会	目的：東日本大震災発生に伴うチャリティー講演会 交流の場の提供 仲間づくり支援 内容：6月：とっさの時に役立つ「乳幼児救急法」講演会 3月：母乳育児（放射能汚染について）	平成23年6月 平成24年3月 2回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア入門講座	目的：地域ボランティアの発掘・育成 内容：6月：障害児・者編 1月：子育て支援編	平成23年6月 平成24年1月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこ手作り教室	目的：交流の場の提供・仲間づくり 内容：8月：フォトフレーム作り	平成23年8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区 男の料理教室交流会	目的：区内のケアプラザで開催している「男の料理教室」参加者の交流を目的として開催。 それぞれの会の内容の充実、居場所支援として企画・運営・開催のコーディネートを行う。 内容：開催場所の「男性料理居室メンバー」が料理を作り、他のケアプラザの料理教室参加者を招き、交流を行う。 9月16日・・・宮崎地域ケアプラザで開催。「ボーイズキッチンワーカーズ」 2月13日・・・藤棚地域ケアプラザで開催「作味会」	平成23年9月 平成24年2月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症について（サポーター養成講座）	目的：地域の方に認知症を理解していただき、ケアプラザの役割、啓発を行う。認知症になっても地域で暮らしたいけるように、地域での啓発講座を開催する。 内容：認知症について	平成23年12月 1回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
消費者被害にあわない為に	目的：権利擁護の啓発講座として、地域の方が身近に感じていただけるの内容での講座を開催する。 内容：おれおれ詐欺にあわない為の講演会	平成23年10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
戸部本町地域ケアプラザまつり	目的：交流の場の提供・ボランティアの育成・各団体の交流支援 内容：模擬店・演技発表・健康づくりコーナー・こども交流コーナー など	平成23年11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しくお味噌を作ろう	目的：食育・親子の交流の機会の確保・仲間作り支援 内容：みそ作り、会食・交流	平成24年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアニーズの把握・交流の場の提供 仲間作り支援 内容：ケアプラザにボランティア登録してくださっている方々を対象とした会食・交流会	平成24年3月 1回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害児余暇支援 おもつきだ よ、全員集合	目的：障害者余暇支援 ボランティアや地域の方々と共に色々な事を経験する 内容：もちつき・カルタ取り など	平成24年1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区サブコー ディネーター研 修	目的：西区内のサブコーディネーターのスキルUP 研修の企画・運営・コーディネート 内容：川崎幸クリニック 稲富先生による「自己覚知」の 講和	平成24年1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的・地域のケアマネジャーの質の向上、連携 研修の企画、運営 内容・年間計画を作成	通年 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成23年度 自主事業収支報告書

事業名	募集対象	自主事業予算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
しなくちゃクッキング	60歳以上男性	3130	0	58900	0	61470	560
	10名						
	おおよそ¥400						
茶ばしらサロン	60歳以上の方	19783	0	49100	31108	37775	0
	20名						
	おおよそ¥200						
みんなで遊ぼう	未就園児	22696	0	17300	39996	0	0
	未定						
	おおよそ¥100						
ゆったりストレッチ	60歳以上の方	7020	0	20700	0	25830	1890
	20名						
	¥200						
コミュニティーキッチン5	地域住民	16336	0	14000	5000	25336	0
	なし						
	¥200						
アロマヨガ	地域住民	24627	0	18600	39996	3231	0
	20名						
	¥200						
ケアプラザ祭り	地域住民	153571	0	0	0	153571	0
	なし						
	なし						
おやこ手作り教室	小学生・保護者	5420	0	900	0	6320	0
	10名組						
	¥300						
親子で楽しくお味噌を作ろう	小学生・保護者	6451	0	10000	0	16451	0
	10組						
	¥1,000						
東日本大震災チャリティーイベント 「ファミリーの笑顔応援」講演会	未就園児	10000	0	0	0	10000	0
	未定						
	おおよそ¥100						
障がい児余暇支援 おもちつきだよ、全員集合	西区在住障がい児・者	5506	0	0	0	5506	0
	15組						
	¥500						
西区サブコーディネーター研修	区内サブコーディネーター	6250	0	0	6250	0	0
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成23年度 自主事業収支報告書

事業名	募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア交流会	ケアプラ登録ボランティア	27945	0	0	5555	22420	0
	なし						
	なし						
わたぼうし	若年性認知症の方	42714	0	33900	28665	40592	7420
	5名程度						
	500/200円						
介護予防コーラス	高齢者	24372	0	0	22220	2152	0
	20名						
	なし						
遅起きラジオ体操	地域の方	29680	0	0	0	0	29680
	なし						
	なし						
介護者の集い	介護経験者	14248	0	0	11111	3137	0
	なし						
	なし						
おやじの時間	男性高齢者	3912	0	0	0	2792	1120
	なし						
	なし						
ケアマネサロン	区内ケアマネジャー	8091	0	4200	11111	1180	0
	なし						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。